

ショート・ショート

(INDEX)

大西 慶雄(1)、川崎 環(1)	(2024.10)
大西 慶雄(2)	(2024.11)
大西 慶雄(3)	(2024.12)
大西 慶雄(4)、ラベンダー(1)	(2025.1)
大西 慶雄(5)	(2025.2)
大西 慶雄(6)	(2025.3)
大西 慶雄(7)	(2025.4)

すっかり旅に出かけることがなくなってしまった。

以前、鉄道の終点駅を訪ねる旅をしていた。

境港、出雲大社、宿毛、宇和島、博多南、長崎、最後に行ったのは枕崎だった。

終点駅のレール止めの先には日常にない何かがある様に思われた。

枕崎の居酒屋で飲んでいると地元の人にここは始発駅だと言われた。

終点との思いは旅行者の感傷でしかなかった。

そういえば、勤めていた頃西神中央は始発駅だったが、今はすっかり終点駅となってしまった。

涼くなれば旅に出てみよう。



[目次へ](#)

「看板」

春日台・大西(2)

旅先や外出先で気になる看板に出会うことがある。日光いろは坂のラーメン「火の車」いまでも営業しているだろうか。

阪急六甲の歯科「かしいしか」の横看板。

三宮の掲示板「成仏不動産」墓地の業者なのだろうか。

下関の居酒屋はトイレの内扉に「酒、人を飲む」の木札。酔いが醒めて飲み直したのは店主の陰謀だろうか。

アトランタ近郊の村の入り口に「牛 15000 頭、人口 854 人」の標示板。牛の村に人が住んでいるのだ。

今も鮮烈に覚えているのは、網走刑務所脇の電柱広告「差し入れには毎日新聞」塀の中に入る機会があればきっと思い出すだろう。



[目次へ](#)

学生の頃、夏の妙高山に登ったことがある。

日の出から登り始め大汗をかいて頂上へ。へとへとになって下山した。以来山は嫌いとなった。

東京時代の若い友人が谷川岳で岩壁から滑落し亡くなった。熊本の葬儀に行くと焼香の列の後ろに婚約者が並んでいた。



職場の友人は、上高地でどしゃぶりの夜道を下る途中 5mほどの山道から転落死した。彼は大学の山岳部でヒマラヤにも遠征し、仲間とのザイルを切り一人生き残った体験をもっていた。

昨年 80 才の兄が山梨の高川山で下山中 50m 滑落し亡くなった。神無月だった。

山はずっと嫌いだが、山男はなぜか愛おしいのである。

[目次へ](#)

「挨拶」 春日台・大西(4)

挨拶をすることが、めっきり減ってしまった。

勤めも終わり子らも順々に家を離れ、
挨拶の機会が本当に少なくなった。

以前、愛媛の吉田町を訪れた折、園庭から
「おはようございます」と幼稚園児に元気な声をかけられた。

びっくりして頭を下げて遍路道を歩いた。

長崎の思案橋の鮎屋は、行く度に「おかえり」と言ってくれる。
ついつい「ただいま」とつぶやいてしまう。

禅では挨拶は「武装解除」を意味するらしい。
戦地での挨拶は可能なのだろうか。

今日の挨拶は「おはよう」「おやすみ」、これだけだった。



[目次△](#)

「喫茶店」 春日台・大西(5)

喫茶店で、街を行き交う人をボンヤリ眺めていることがある。

住んでいる街であれ、知らない街であれその街の空気感が漂ってきて落ち着いた気分になれる。

ベビーカーを押す人、
にぎやかな小・中・高校生グループ
飛ぶように歩く若者、
手提げ袋いっぱいの買い物客、
着飾った女性もちらほら、
早足に急ぐサラリーマン、
歩幅の狭い高齢者が
それぞれに喫茶店の硝子窓を横切って行く。

もう若い日には戻れないけれど、行き交う人と
同じ年代であった頃を思い出させてくれる。

行き交う人は眺めているわたし自身であった。



「写真」 春日台・大西(NO6)

写真といえば、今はスマホで「カシャ」の時代である。

フィルムカメラを撮りはじめたのは高校生の頃から。
新聞を作っていたのでカメラは良き相棒であった。

筑波山の陽の出を撮りに冬の早朝 2 週間通った。
打上花火をバルブシャッターで狙っていると
前を人が通り過ぎたことも。

子どもが小さい頃BOX型の二眼レフカメラに凝った。
メジャーで距離を測っていたら被写体の子が
いなくなっていた。

アルバムを見ているとそんな事も思い出す。

そして世はデジタルカメラが主流となり、
カメラへの愛着がスーと消えてしまった。
シャッターを押すだけでは手応えが感じられなくなった。

スマホやデジタルカメラの写真は、
撮った記録にはなるけれど
アルバムの写真にはわたしの記憶が刻まれていた。



「市場(いちば)」 春日台・大西(NO7)

食料品を買いにスーパーに出かける。
メモを持って棚を探してレジで支払う。
店員さんに「ありがとうございます」と言われる
けれど一言も喋らずに用は済んでしまう。

晩年入院をしていた母は、見舞いの度に
市場の店舗を端から端まで説明してくれる。



花屋、味噌屋、漬物屋、卵屋、蒲鉾屋、八百屋、
乾物屋、魚屋、かしわ屋、荒物屋、そして
一番奥の肉屋はいつもコロツケを揚げていたと。

市場は細い通路の両側に小さな個人商店が並び、
売り込みの掛け声や客とのやりとりが溢れていた。

母が亡くなり、阪神大震災があって
市場は忽然と無くなってしまった。

春日台・大西(NO7) [目次へ](#)

コンサート「南の島の歌姫たち」(兵庫県立芸術文化センターで公演)

昨年12月17日、石垣島の石垣優さん、奄美大島の城南海(きずきみなみ)さん、沖縄読谷村の玉城千春さん(Kiroro)そして沖縄嘉手納の古謝美佐子(こじゃみさこ)さんの豪華メンバーのコンサートに行きました。

2022年に沖縄本土復帰50周年を迎え、平和をテーマに女性歌手4人のコラボ、想像以上の素晴らしいコンサートでした。

特に古謝さんは今年、私と同じ古希を迎え「いつまで歌えるかわからない、今をただ一生懸命いきる」と、迫力ある歌声と間奏で「沖縄の悲惨な現実(米軍基地と南西諸島への自衛隊配備そしてPFAS汚染・・・)」を訴え、涙をこらえることができませんでした。

「平和星」の間奏では「みなさんのチカラをお借りしたい」とつぶやかれ、ちむぐりさ。

(ちむぐりさ:誰かの心の痛みを自分の悲しみとして一緒に胸を痛めること)

DVD「平和星☆願い歌」をゲットしました、「今月の歌」で紹介できたらと思っています。



檜野台・ラベンダー [目次へ](#)

「令和のコメ騒動？」

(美賀多台・川崎 9/25 時点)

さらに値下がりすすむ？昨日、スーパーのお米の値段をチェックしたら、また安くなっていました。

某ディスカウント店は 5 kg 2,990 円だった華越前、2,799 円から 2,599 円に。

スーパー万代では岩手県産銀河のしずく 5 kg 2,580 円、滋賀のみずかがみ 5 kg 2,880 円に。

<https://www.facebook.com/tamaki.kawasaki.79>

[目次へ](#)